



茶屋町在宅診療所

# 『この町で生きてゆく』を支える ハレノヒ通信

2月  
2026

## 院長コラム

### 100人の笑顔と未来への楽しみ

立春とは名ばかりで、まだ寒さの厳しい日が続いています。

去る1月15日、当診療所が新しく手掛けるコミュニティースペース「茶屋町ハレノヒ」の上棟式を行いました。今では珍しくなった「餅まき」を企画したものの、当日を迎えるまでは「本当に人は集まってくれるだろうか」と、不安でいっぱいでした。

しかし、棟の上に立った瞬間、その不安は驚きと感動に変わりました。

そこには、予想をはるかに超える100人以上の地域の皆さまの姿があったのです。

「懐かしいなあ。昔はよくあったんじゃけどな」と笑うお年寄り。

お餅やお菓子を追いかけ、「とれたー！」「初めて見た！楽しい！」と歓声を上げる子どもたち。世代を超えてみんなが同じ方向を見上げ、笑い合っている光景に、胸が熱くなりました。

そして何より嬉しかったのは、帰り際に多くの方が「どんな建物ができるか楽しみじゃな」「完成を待つとるよ」と声をかけてくださったことです。

私が目指していたのは、医療や介護が必要な時だけでなく、元気な時から地域の人たちが自然と集まれる場所。皆さまからの期待の言葉を励みに、「茶屋町ハレノヒ」が良い場所になるよう、完成に向けて準備を進めてまいります。

寒い中、足を運んでくださった皆さま、本当にありがとうございました。



## 茶屋町ハレノヒ

屋根と柱が組み上がり、建物の全体像が見えてきました！

柱の間隔から、「このあたりが〇〇の部屋だな」と間取りも分かるように。

木の香りが漂う現場で、完成後の賑わいを

想像しながら工事を見守っています。



## お知らせ 月1回の保険証確認について

マイナ保険証の利用を含め、月に1回の保険証確認をお願いしております。  
マイナ保険証をお持ちでない方は、資格確認書をご提示ください。  
正確な保険確認のため、ご理解をお願いいたします。



## 暮らしシェア帖

寒い季節は、喉の渇きを感じにくくなります  
が、暖房などで知らないうちに水分不足にな  
りがちです。

お茶や白湯、スープなど、あたたかい飲み物  
を、無理のないタイミングでとってみてくだ  
さい。「早めのちょっと一口」が、体をいた  
わるやさしい習慣になります。



## スタッフつれづれ

診療アシスタント(PA) 梶山です。

入職して半年が経ち、周囲の方に支えられて  
少しずつ在宅診療の業務全体の流れが分かつ  
てきました。在宅診療はチーム医療で関連施  
設との連携の重要性を実感しています。  
診療アシスタント業務での気づきを大切に、  
患者様、ご家族様の心に寄り添えるよう、丁  
寧な対応を心がけ、日々精進してまいりたい  
と思います。

趣味は韓国ドラマを  
見ることです



## わがや自慢

茶屋町在宅診療所のきなこちゃん 4歳♀

「永遠の子猫」  
ちっちゃいけど、気が強い女の子。



このコーナーで我が家のお自慢を募集中。  
ペット、趣味、景色など何でもお自慢して下さい。  
訪問の際に診療アシスタントに気軽にお声かけ  
下さい。

## 編集後記

暦の上では春を迎来了が、まだまだ  
寒い日が続いています。

「いつもの暮らし」を大切に、暖かくして  
お過ごしください。



インスタに出演中。  
チェックしてね！



©TORA9\_9CHAYAMACHI

茶屋町在宅診療所

〒710-1101  
倉敷市茶屋町360番地12  
TEL : 086-429-0003  
FAX : 086-429-1133